

## 競争参加資格確認申請書

令和 2年 8月〇〇日

分任支出負担行為担当官

(官職) 〇〇森林管理署長

(氏名) 〇〇〇〇 殿

住 所 熊本市西区京町本丁200-700

商号又は名称 株式会社 九州一林業

代表者氏名 代表取締役 森某太郎

令和 2年 8月〇〇日付けで入札公告のありました 〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負 事業に係る競争に参加する資格について、確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第70条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

### 記

- 1 入札公告の記の2(2)に定める全省庁統一資格の写し
- 2 入札公告の記の2(6)に定める事業実績を記載した書面 (別紙様式2)
- 3 入札公告の記の2(6)のなお書きに定める過去2ヶ年度の事業成績評定点を記載した書面 (別紙様式3)
- 4 入札公告の記の2(7)に定める事業実績を記載した書面 (別紙様式4)
- 5 入札公告の造林にあつては記の2(9)(10)、素材生産にあつては記の2(10)(11)に定める配置予定の従事者及び技術者の資格等を記載した書面 (別紙様式5)
- 6 入札公告の記の2(8)に定める「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範(個別規範)林業」に沿った作業安全対策への取組状況 (別紙様式6)
- 7 入札公告の記の3(4)に定める共同事業体を結成し入札に参加しようとする場合は、協定書の写し
- 8 入札公告に定める上記2・3・4及び5の内容を証明するための書面

(備考) 1 用紙の大きさは日本工業規格A列4とする。

2 返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた郵送料金の切手を貼った長3号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

(別紙様式1の1)  
提出添付書類一覧

(記載例)

(事業名: ○○国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名: (株)○○林業

関係様式	名称	添付書類名	添付書類提出確認	(省略する場合)
別紙様式1	競争参加資格確認申請書	全省庁統一資格確認通知書	提出 / 省略	○○森林管理署、○○年度△△国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業(○月○日入札)において提出済み。(内容に異同はない)
		協定書(写) ※共同事業体の場合のみ	提出 / 不要	
別紙様式2	同種(企業)の事業実績	契約書等(写)	提出 / 省略	○○森林管理署、○○年度△△国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業(○月○日入札)において提出済み。(内容に異同はない)
		事業成績評定通知書(写)	提出 / 省略 / 無	
別紙様式3	過去2年度の事業成績評定点一覧表	事業成績評定通知書(写)	提出 / 省略 / 無	○○森林管理署、○○年度△△国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業(○月○日入札)において提出済み。(内容に異同はない)
		契約書(写) ※共同事業体の場合のみ	提出 / 不要 / 省略	
別紙様式4	配置予定の技術者(現場代理人等)の状況	契約書等(写)	提出 / 省略	○○森林管理署、○○年度△△国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業(○月○日入札)において提出済み。(内容に異同はない)
		事業成績評定通知書(写)	提出 / 省略	
		事業計画書(写) ※一般作業手の場合のみ	提出 / 不要 / 省略	
別紙様式5	配置予定従事者の社会保険等加入及び技能等の状況	社会保険等(写)	提出 / 省略	○○森林管理署、○○年度△△国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業(○月○日入札)において提出済み。(内容に異同はない)
		免許証・講習修了証等(写)	提出 / 省略	
別紙様式6	「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範(個別規範)林業」に沿った作業安全対策への取組状況	無		

- (注意) 1. 別紙様式1~5について、内容に異同がない場合に限り、当該年度において初参加の入札へ提出した添付書類をもって、提出を省略することができることとする。この場合は、「省略」を選択の上、添付書類を提出した入札の情報を記載すること。  
2. 前回の添付書類に一部変更等がある場合「省略」はしないこと。  
3. 関係様式は省略しないこと。

## 同種(企業)の事業実績

(事業名:〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名: (株)九州一林業

①同種事業の実績	事業名	〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業		
	発注機関名	〇〇森林管理署		
	場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇国有林800い林小班外		
	契約金額	21,060,000円		
	事業期間	自平成28年5月21日 ~ 至平成29年1月28日		
	受注形態等	<input type="checkbox"/> 単体 / <input checked="" type="checkbox"/> JV JV名称: くま九緑共同事業体 構成企業名: (株)くま産業、(株)九州一林業、(有)緑山造林 ※該当項目にレ印を付ける(JVの場合は、名称、構成企業名を記載する。)。		
作業種(規模等)	保育間伐 44.80ha 集造材 820m <sup>3</sup> 山元巻立 10m <sup>3</sup>	C材集造材 260m <sup>3</sup> C材山元巻立 260m <sup>3</sup> 封印発送 810m <sup>3</sup>	※作業内容、事業量等を記載する。	
※1 同種事業は入札公告を熟読のうえ、平成15年4月1日以降(過去15年間)に完成、引き渡し完了した同種事業の実績の中から代表的なもの1件について記載すること。 ※2 実績として記載した事業に係る契約書等の写し(事業名、事業期間、発注機関、社印を有する部分及び設計図書等で事業内容が確認出来る資料。下請を実績として記載した場合は、元請事業体と交わした契約書又は発注者が発出した下請承諾書等の写し)を添付すること。				
②事業成績評定(過去2カ年度)	(別紙様式3のとおり)			
③表彰実績 [表彰名・事業名] (表彰者・年月日)	[表彰名: 国有林間伐推進コンクール 事業名: 車両系搬出間伐部門] (表彰者: 九州森林管理局長 年月日: 平成30年3月6日) ※1 過去10年間(年度単位)の表彰実績を一つ記載する。 ※2 表彰状の写しを添付する。			
④地理的条件	事業実行地と同一県又は隣接県での本店、支店又は営業所の所在地の有無(該当項目にレ印を付ける) <input checked="" type="checkbox"/> 有 本店、支店又は営業所等所在地: 熊本県 <input type="checkbox"/> 無			
⑤低入札の有無	過去1年以内(年度単位)に低入札の調査対象となったことがあるか。(該当項目のどれか一つにレ印を付ける) <input type="checkbox"/> 調査対象となった事業の事業成績評定点がすべて85点以上である。(※該当の場合は、低入札となった事業の事業成績評定通知書の写しを添付する) <input type="checkbox"/> 調査対象となり、かつ、いずれかの事業成績評定点が85点未満である。(※該当の場合は、低入札となった事業の事業成績評定通知書の写しを添付する。) <input checked="" type="checkbox"/> 該当無し(調査対象となることがない。)			
備考	その他特記事項:			

(注) 1. 「③表彰実績」、「④地理的条件」、「⑤低入札の有無」については、総合評価落札方式に限り記載すること。

2. 記載内容が多くなる場合は、様式が複数枚に及んでも差し支えない。

## (記載例)

## 過去2年度の事業成績評定点一覧表

会社名:(株)九州一林業

事業名	発注機関	完了検査年月日	事業成績評定点	備考
〇〇国有林森林整備(保育間伐【活用型】)	〇〇森林管理署	平成28年 5月20日	75 点	
〇〇国有林森林整備(保育間伐【活用型】)	〇〇森林管理署	平成29年 5月9日	88 点	
〇〇国有林森林整備(誘導伐・密着造林)	〇〇森林管理署	平成29年 9月5日	77 点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
合 計			評定点計(a) 240 点	契約件数(b) 3 件
平均評定点 (a÷b)			80.0 点	

※1 森林管理署長等から受注した事業で入札公告日の属する年度の前年度及び前々年度の2年間に完了した同種事業のうち事業成績評定が行われた全ての事業について記載し、平均評定点を算出すること。

※2 記載した全ての事業について、事業成績評定通知書の写しを添付すること。なお、共同事業体での実績の場合は、契約書の写しも添付する。

※3 欄が不足する場合は、適宜欄を追加する。これにより本様式が複数枚に及んでも差し支えない。

(記載例)

## 配置予定の技術者(現場代理人等)の状況

氏名		大木 幹太			大木 幹太			大木 幹太		
項目										
会社名		株式会社 九州一林業			株式会社 九州一林業			株式会社 九州一林業		
事業 経験 の 概要	事業名	〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業			〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業			〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業		
	発注機関名	〇〇森林管理署			〇〇森林管理署			〇〇森林管理署		
	事業場所	〇〇国有林700い林小班外			〇〇国有林800い林小班外			〇〇国有林900い林小班外		
	従事期間	平成27年 5月	~	平成27年12月	平成28年5月	~	平成29年 1月	平成29年 9月	~	平成30年 3月

備考 1 入札公告に定める実績を有していることを証明できる内容を記入すること。

2 上記1の経歴等を証明する履歴書等の写しを添付すること。

3 請負契約約款及び仕様書等を履行できる技術者であること。

4 記載する事業が事業成績評定を受けた事業である場合は、評定点を証明する書類を添付すること。

(記載例)

配置予定従事者の社会保険等加入及び技能等の状況

氏名	社会保険等加入状況			資格・受講の有無													備考
	健康保険	年金保険	雇用保険	種類	林業架線作業主任者	機械集材装置の運転作業	困難を伴う伐木及びかかり木等の処理作業	チェーンソーによる伐木造材等の作業	車両系林業機械による伐木、集・造材作業の作業	玉掛け作業	はい積み作業	地山掘削作業	伐木等機械の運転作業	走行集材機械の運転作業	簡易架線集材装置等の運転作業		
	健康保険法第48条の規定による届出	厚生年金法第27条の規定による届出	雇用保険法第7条の規定による届出	区分	免許	安全衛生特別教育	安全衛生特別教育	安全衛生特別教育	技能講習修了者	技能講習修了者	技能講習修了者	技能講習修了者	安全衛生特別教育	安全衛生特別教育	安全衛生特別教育		
	名称 (健康保険、国民健康保険、適用除外等と記載)	名称 (厚生年金、国民年金、受給者等と記載)	名称 (雇用保険、日雇、適用除外等と記載)	関係規程等	法:第72条 則第62条・昭47告示96号免許規程・昭46.4.15基発321号	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程9条	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程10条	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程10条の2	法:第76条 第1項 法別表第18第31号・昭47告示112号車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習規程	法:第76条 第1項 法別表第18第36号・昭47告示119号玉掛け講習規程	法:第76条 第1項 法別表第18第15号・昭47告示106号はい講習規程	法:第76条 第1項 法別表第18第5号・昭47告示103号地山掘削作業主任者講習規程	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程8条の2	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程8条の3	法:第59条 第3項 則第36～39条・昭47告示92号教育規程9条の2		
大木 幹太	○	○	○		○		○	○							○		
山川 谷夫	○	○	○				○	○		○		○	○				
杉林 守	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○			
坂道 登	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○			
朝飯 前太郎	○	○	○				○	○									
早起 三文	○	○	○				○	○									
上下 横男	○	○	○				○	○									
丸山 角三	○	○	○				○	○									

備考

- 作業内容に応じて法令上必要とされる資格等について記載する。
- 「社会保険等加入状況」欄には、健康保険、年金保険、雇用保険の加入状況について、該当欄に○印を記載し、保険料の領収済通知書等関係資料の写しを添付する。なお、適用除外者である場合(事業主、日々雇い入れられる者等)は該当欄に「除外」と記載し、適用除外であることが分かる資料を添付すること。また、保険証等の写しを添付する場合は、被保険者等記号・番号等にマスキングを施し添付すること。
- 「資格・受講の有無」欄には、従事予定技能者が取得している資格・受講の有無について、該当欄に○印を記載すること。また、事業の実施に際して必要な資格を持っている場合は、空欄にその資格を記載し、○印を記載すること。
- 経歴等を証明する免許証等の写し等を添付すること。

注) 法＝労働安全衛生法、則＝労働安全衛生規則、告示＝厚生労働省告示、基発＝労働基準局長通達

(別紙様式6)

## 作業安全規範(個別規範) チェックシート (林業 個別事業者向け)

(記載例)

事業者名	株式会社 ○○○○
主な作業 (○を付ける。複数選択可)	○(素材生産)／造林・保育／その他( )
記入者 氏名	代表取締役 ○○○○
記入日	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

最近1年間の取組状況をご記入下さい。

具体的な事項	○:実施 ×実施していない △:要改善 -:該当しない
1 作業安全確保のために必要な対策を講じる	
1-1 人的対応力の向上	
1-1-1 作業事故防止に向けた具体的な目標を設定する。	○
1-1-2 知識、経験等を踏まえて、安全対策の責任者や担当者を選任する。	○
1-1-3 作業安全に関する研修・教育等を受ける。また、作業安全に関する最新の知見や情報の幅広い収集に努める。	○
1-1-4 適切な技能や免許等の資格を取得する。	○
1-1-5 職場での朝礼や定期的な集会等により、従事者間で作業の計画や安全意識を共有する。	○
1-1-6 安全対策の推進に向け、従事者自らが提案を行う。	○
1-2 作業安全のためのルールや手順の順守	
1-2-1 関係法令を遵守する。	○
1-2-2 高性能林業機械やチェーンソー等、資機材等の使用に当たっては、取扱説明書の確認等を通じて適切な使用方法を理解する。	○
1-2-3 作業に応じ、安全に配慮した服装や保護具等を着用する。	○
1-2-4 健康状態の管理を行う。	○
1-2-5 作業中に必要な休憩をとる。	○
1-2-6 作業安全対策に知見のある第三者等によるチェックを受ける。	○

具体的な事項		○:実施 ×実施していない △:要改善 -:該当しない
<b>1-3</b>	<b>資機材、設備等の安全性の確保</b>	
1-3-1	燃料や薬品など危険性・有害性のある資材を適切に保管する。	○
1-3-2	機械や刃物等の日常点検・整備・保管を適切に行う。	○
1-3-3	資機材、設備等を導入・更新する際には、無人化機械等を含め、可能な限り安全に配慮したものを選択する。	○
<b>1-4</b>	<b>作業環境の整備</b>	
1-4-1	職場や個人の状況に応じ、適切な作業分担を行う。また、日々の健康状態に応じて適切に分担を変更する。	○
1-4-2	安全な作業手順、作業動作、機械・器具の使用方法を明文化又は可視化し、全ての従事者が見ることができるようにする。	○
1-4-3	現場の危険箇所を予め特定し、改善・整備や注意喚起を行う。	○
1-4-4	4S(整理・整頓・清潔・清掃)活動を行う。	○
<b>1-5</b>	<b>事故事例やヒヤリ・ハット事例などの情報の分析と活用</b>	
1-5-1	行政等への報告義務のない軽微な負傷を含む事故事例やヒヤリ・ハット事例を分析し、再発防止策を講じる。	○
1-5-2	実施した作業安全対策の内容を記録する。	○
<b>2</b>	<b>事故発生時に備える</b>	
<b>2-1</b>	<b>労災保険への加入等、補償措置の確保</b>	
2-1-1	経営者や家族従事者を含めて、労災保険やその他の補償措置を講じる。	○
<b>2-2</b>	<b>事故後の速やかな対応策、再発防止策の検討と実施</b>	
2-2-1	事故が発生した場合の対応(救護、搬送、連絡、その後の調査、労基署への届出、再発防止策の策定等)の手順を明文化する。	○
<b>2-3</b>	<b>事業継続のための備え</b>	
2-3-1	事故により従事者が作業に従事ができなくなった場合等に事業が継続できるよう、あらかじめ方策を検討する。	○